

町政一般質問通告一覧表

令和元年9月定例会

令和元年9月18日

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名
1	行政と農協の一体性と農業政策について	<p>① ながさき西海農協が中期経営計画に基づき、支店の再編成の方針を機関決定されたが、佐々行政区の佐々支店が北松基幹支店に統廃合される。農協より公式に説明等があったのか伺います。</p> <p>② 農協の活動組織、部会等に対する町単独の補助金の今後のあり方について伺います。</p> <p>③ 公金の収納代理金融機関及び金融商品の取引について、今後の方針を伺います。</p> <p>④ J A佐々支店がなくなることから、多くの農家は不安を抱いておられる。今後、農業が持続発展できるよう、町独自の政策に取り組むことについて伺います。</p> <p>⑤ 営農集落の将来像などを関係者と話し合いしながら、国・県の制度を研究し、各地区の営農集落を単位とした集落営農活動組織を立ち上げるについて伺います。</p>	町長	8番 平田 康範 (一問一答)
	高齢者の支援対策について	<p>① 高齢者のクルマ運転でブレーキとアクセルの誤操作により死亡事故等が多く報じられているが、高齢者が新規に先進安全自動車を購入する場合の自動車購入費補助制度の取組みについて伺います。</p> <p>② 先進安全自動車の購入補助制度以外として、クルマに後付け出来る急発進防止装置の購入費・設置費に対する補助制度を導入している自治体もあるが、どのような考えか伺います。</p> <p>③ 高齢者外出支援タクシー利用補助制度は、利用条件が一律であるが、町中心部と遠隔地の利用者では、乗車料金の自己負担額も異なり、更には利用頻度も異なると思われる。 地区によって助成枚数、利用条件などの見直しも必要と思われるが、町長の見解を伺います。</p>	町長	
2	町内個人病院の今後、存続に対して本町の方針は	<p>①医療関係の今後に対して不安なのですが、本町では先進的な福祉医療で18歳未満までの無償化を昨年より実施。他・市町にもさがぎけの取り組みであるのですが、本町における医療体制に若干、不安を覚えるのです。それは、病院院長の高齢化、今年、3月末にも体調不良の名目にて内科医が廃業されました。また、現時点でも他の医療関係も例外ではないと思われます。今後、本町の医療体制維持のお考えは？</p>	町長	
	8月下旬における大雨特別警報時の対応は	<p>②数十年に一度と思われる九州北部を襲った大雨。今年、国が新たに施行された災害警戒レベル5段階の大雨警戒基準。本町も災害避難指示レベル5(緊急)が発令された時点における対応は、早急なる対策として「災害警戒本部」設置。5938世帯・13991人の町民に避難情報、避難所開設(町公民館・地域交流センター)広報無線にて告知。しかしながら、翌日28日に避難施設には15世帯・28の方が避難されたとの事。予想以上に降り続く大雨に対して、中央地区の2カ所のみ避難所開設は町民に不安を解消することは出来たのでしょうか？27日の時点で各家庭に配布されたハザードマップ避難所の活用がいかされていなかったのでは？</p>	町長	4番 長谷川 忠 (一問一答)

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号
				氏名
2	公共施設の老朽化に対して本町の今後における取り組みは	③例として農業体験施設に併設された、大岳山頂登山口「汗の道」(215段・392.4m)の現状は見るも無惨なる遊歩道となり、山頂の展望デッキより見る本町の自然豊かな広大な景観は雑木林に閉ざされている。このような風光明媚なる憩いの場、また、健康増進に力を注ぐ本町のあり方とはかけ離れた施設放置は、手付かずとなっている現状をどのようにお考えですか？	町長	4番 長谷川 忠 (一問一答)
	九州新幹線長崎ルートに係る並行在来線への対応について	・新幹線長崎ルートは、佐賀県では賛否両論あっているが、県内ではフル規格のことばかりで、並行在来線についてはあまり報道されていない。新幹線長崎ルートが開通すると、長崎本線と佐世保線の鳥栖～武雄温泉の区間は並行在来線となる。反対運動があった鹿島市をどのように捉えられているのでしょうか。そこで、佐世保線沿いの自治体は、何か行動を起こされているのか。また、どのようなお考えかお尋ねしたい。	町長	2番 浜野 亘 (一問一答)
	住民の安全確保に係る避難勧告や避難指示について	・先月の28日～29日の九州北部大雨では、本町においても避難勧告が出された。しかしながら、避難者数は極々一部の30人ほどだったと聞いている。佐賀県では時間雨量100mmを超える大雨で、武雄市や大町町満潮時刻と重なり甚大な被害となった。本町でも近年になく道路の法面がえぐり取られた箇所が多々あった中、大雨の時間帯が夕方だったら対岸の火事では済まされなかったと思う。課題であった避難勧告を発しても避難していただけないことが現実となり、今後どのように対応していくのかお尋ねしたい。	町長	
行政の公平・公正と情報の透明性について	・行政は透明性を確保することが、町長の姿勢だと思うが、前回の6月定例議会で地域福祉計画について質問し、その後も回答がなかった業者名の公表について、再度回答を求める。 ・先月24日に開催された「保育」をテーマとした講演会、翌25日に開催された「家のまわり大探検」の事業について、住民福祉課が主催されたが、報償費や旅費などの経費はどのように支出したのかお尋ねしたい。	町長		
3	佐々川の河川敷遊歩道整備について	・現在佐々川内の雑木の伐採と一部浚渫を、県河川課が施工している。平成29年7月に佐々川沿いの遊歩道整備(佐々踏切～栗林踏切)について、利用者はほとんどが住民であるので、県と協議して一緒に進めてはと提案したが、その後の検討状況をお尋ねしたい。	町長	2番 浜野 亘 (一問一答)
	遊休町有地の有効活用はどのような検討状況に	今まで多くの議員によって質問されたが、全ての回答が検討で終わっている、どのように検討しているのか。 温浴施設計画跡地に人工芝の計画は SSK購入地の登記の進捗状況は 佐々幼稚園の跡地の活用はどのように 春の山団地の跡地の活用は 今から解体する旧町立診療所、旧第一保育所、旧里町内会集会所跡地はどのように	町長 担当課長	
	西九州自動車道が開通後の佐々町のまちづくりは	佐々～大塔まで4車線化が決定し計画が進んでいる。また、西九州自動車道の松浦・佐々道路も予算が60億つき計画が進んでいる。佐々町の5年後、10年後のまちづくりをどのように進めていくのか。	町長	
4	佐々町表彰者制度について	佐々町表彰条例に基づく表彰はいつ行われたのか。佐々町には該当者が多くおられると思うが、各課長から推薦はどのようになっているのか。	町長 総務課長	9番 淡田 邦夫 (一問一答)

番号	質問事項	質問の要旨	質問の相手	議席番号
	(件名)			氏名
5	1. 障害者・高齢者に係る居住支援やバリアフリーの推進について	<p>障害のある人や高齢者の自立した生活を支援する社会形成を実現する取り組みにおいて、バリアフリーについてきめ細やかな対策ができていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の施設等におけるバリアフリー対策が十分であるか。 ・チェック体制等調査の上での対応はいかに。 ・地域福祉計画策定が予定されているが、その中での「高齢者福祉」「障害者福祉」部分の取扱いはどうか。 	町 長 関係課長	6 番 永安 文男 (一問一答)
	2. 手と手をつなぎ未来をつくる協働のまちづくりについて	<p>町民と行政が協働し、身近な地域の課題解決を進めていくと後期計画にあるが、本町の協働のまちづくりを進めるに当たり受けての町内会の地域コミュニティをどう育成していくのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会長会の位置づけとその活動における町の対応は。 ・多くの要望陳情に対して的確な対応がされているか。 ・平成15年に話題になった「相談カード」の実態は。 ・情報共有により協働のまちづくり推進がなされているか。 	町 長 関係課長	
6	①「町内循環バス」について	①「循環バス」について、地域福祉計画策定に向けた委員会での検討状況はどうか。	町 長 担当課長	3 番 永田 勝美 (一問一答)
	②交通災害防止について	②循環バス構想について、通学支援・買い物支援などの要素をどう盛り込むのか。		
	③国保制度の改善に向けて	③「資格証明書・短期保険証」発行の現状と対策。「44条減免」(窓口一部負担減免)の周知について。	町 長 関係課長	
		④町政の基本姿勢について		
7	まちづくりについて	②私道等の町道移管にかかる条件整備について、現状をどのように改善するのか。	町 長	7 番 橋本 義雄 (一問一答)
		②私道等の町道移管にかかる条件整備について、現状をどのように改善するのか。		
7	まちづくりについて	<p>○平成28年度に町道小浦浜線改良工事を行った際、アリアケジャパンの私有地との交換をしたアリアケジャパン裏町有地の残地は、どのくらい残っているのか教えてください。その残地で小浦浜線支線の行き止まりの道路を通り抜けができる道路に出来ないのか。</p> <p>○小浦のジョギングコース沿いにハマボウが1.3kmにわたって群生しているのは、長崎県でも佐々町だけです。春に咲く河津桜と夏に咲くハマボウということで佐々町の自然を生かした観光づくりを推進したらどうか。</p> <p>○町長は、佐々川を中心としたまちづくりを推進しておられます。佐々川の恵みであるシロウオ、桜堤の河津桜、河川公園、皿山の花菖蒲、真竹の枝垂れ桜、とありますが、それから先、北部の方には、何もありません。佐々川のさざんか、神田沿いにも河川公園みたいに、休憩するところが北部にも必要になってくるのではないかと思うがどうですか。地域住民がウォーキングなどで、快適で心豊かに過ごすことのできるまちづくりのために。</p>	町 長	7 番 橋本 義雄 (一問一答)

番号	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手	議 席 番 号
	(件 名)			氏 名
7	豪雨に対する溜池管理について	○溜池には、水かさが増えてくると余水ばきといって余った水を配水するところがあります。豪雨の時には、余水ばきから吐ききれず、水がたまり、堤体が崩壊する原因になります。その時に栓を抜いても吐ききれない。余水ばきを下げる（全部ではない）ことを考えたかどうか。普通の時は堰を作り水を保つようにする。特に溜池の下に住宅がある地域はたくさんあります。（神田・市瀬・里・野寄・他）	町 長	7 番 橋本 義雄 (一問一答)
	町内会・地域の行事について	○町内会の大きな行事として敬老会があります。この行事は、平成20年に佐々町で行っていた行事を各町内会でやるようになりました。町長にお尋ねします。各町内会に来賓として参加されておられますが、今の現状をどう思われますか。11年目を迎えてさらに楽しくするために、見つめ直すことも必要かと思うがどうか。又おくんちがもうすぐきます。熊野神社、三柱神社のおくんちがそれぞれ地域で行われますが、このおくんちについて、学校教育における郷土教育の推進を図るうえで、おくんちを教育長は、どう捉えておられるのかお聞かせください。	町 教 育 長	